

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 10環境衛生費

◎環境衛生一般の経費

衛生・害虫駆除事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。

効果 不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

【事業の内容】

(1) 衛生・害虫駆除事業

- ・ ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒、ねずみやハチ等昆虫の駆除相談・駆除業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,927	7,160	6,594		566

主な支出内訳

・ 衛生・害虫駆除事業

有害虫駆除相談臨時的任用職員賃金等	241
害虫駆除用薬剤等消耗品費	3,093
車両等燃料費	498
ハチ駆除方法等周知パンフレット印刷費	46
車両修繕料	337
緊急連絡用携帯電話電信料	46
佐助墓地除草業務委託料	200
小型貨物自動車(薬剤散布車)1台	1,730
車載用動力噴霧機一式(1台)	289

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-14 衛生・害虫駆除事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	589 衛生・害虫駆除事業					
主管課	環境保全推進課(環境保全課)	関連課					
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努める。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	6,594千円	4,749千円	4,525千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	6,594千円	4,749千円	4,525千円			
	人員配置数	3.5人	3.5人	4.0人			
	人件費	21,215千円	31,678千円	35,694千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	27,809千円	36,427千円	40,219千円			
	市民1人当 りの経費	158円	207円	230円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
					※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
害虫の相談のうち市が行わ ない害虫駆除の相談割合	×	目標値		25%	25%	20%	10%
		実績値	28.67%	39.63%			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) どう猛で危険性の高いスズメバチの巣の駆除については市が行うこととしているが、アシナガバチ等危険性の少ないハチの巣の駆除については家庭で対応していただく旨、パンフレットやホームページ等で駆除方法を周知しアシナガバチ等の相談の削減に努めたが、多くの相談が寄せられている。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ハチの巣の駆除対応マニュアルを作成し、家庭で対応できるアシナガバチの巣などの駆除方法を周知した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ハチの営巣活動は、天候に左右されるもののアシナガバチ等危険性の少ないハチの巣の駆除相談が減少しない。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) アシナガバチの自己処理方法についてさらに周知を進める。また、現在は市が直営で実施しているハチ駆除について、職員減員時の対応として、将来的に委託について検討を進めていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
					有
<p>今後もスズメバチの巣の駆除については、市民要望に対応していくとともに、害虫駆除業務等については、職員の減員時の対応として将来的に委託化の検討を進めていく。</p>					
担当課長氏名:		環境保全課 比連崎 勝			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
					有
<p>害虫駆除業務等については、職員の減員時の対応として将来的に委託を考慮しつつ、環境衛生の充実を図っていきます。</p>					
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋		